



バラの会
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

性暴力への取り組み

Q 犯罪被害者支援条例による対応は、どのくらいあっているか。

A 令和元年度1件、令和3年度1件の計2件。1件は遺族見舞金30万円を支給。

Q 見えにくい現状について、どのような対応をしているか。

A 令和2年度から女性相談員を配置し、相談しやすい環境づくりに努めている。

Q 性教育の取組は。

A 昨年度、中学校では産婦人科医の話聞き、命の尊さを考える機会となった。

Q 今後、性暴力根絶の取組をどうするか。

A 先進事例を見ながら、県、県内他市の動向を参考に考えていきたい。

障がい児教育の島原市の現状と課題

Q 島原市の障がい児の現状は。

A 特別支援学級が小・中合わせて37学級。通級指導教室を全小学校及

び中学校2校に開設。

Q 職員配置など、現状と理想は。

A 学習支援員を各学校1名から少しづつ拡充している。支援が必要な子どもが多い場合は、増員の要求もあり、学校と十分相談し検討している。

Q 行政改革が始まって36年、より良い未来に繋げるために

行革大綱の明確な目的は。

A 限られた予算の中で効率的・効果的な行政運営を図るとともに、住民サービスの質の向上に努め、時代に応じた改革・改善の取組を進める。

Q 現在、その計画の中でどの程度進んでいるのか。

A 平成22年度浦田保育園、平成28年度ありあけ荘、平成30年度白山保育園を民間移譲。計画とは別に令和元年度母子寮を廃止。

Q 平成26年に職員削減目標達成後も減少しているのはなぜか。

A 退職等であり、行革に基づいて職員削減をしてきたものではない。

Q 人を大事にする島原市であってほしい。

A 行政と市民、官民一体となって住民が安心して暮らせるよう、日々努力を重ねていきたい。

【その他の質問項目】
◇ヤングケアラー、島原市の現状は



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

環境

Q 2050年カーボンニュートラル及び2030年温室効果ガス削減目標に向けて民間で何ができるのか。

A 本市の具体的な取組としては、市民総参加型の4万人のごみ減量プロジェクトとして、ごみの減量化によるCO2削減や、クールビズ・ウォームビズによる空調管理の徹底、照明器具のLED化の推進、始業前・昼休みの執務室の消灯、文具・事務用品等の環境配置型製品を優先的に購入するなどの対策を行っている。

Q 本市でも新たな電力供給は考えられないのか。

A 湧水を活用した熱交換による冷暖房、家畜し尿を活用したプラントなどによる実証実験を行ったが、本格的な導入に至っていない。しかし、宝酒造の工場排湯をヒートポンプの熱源として有効活用した結果、温泉給湯事業で大きな成果を上げている。

Q リサイクルごみや時間外のごみを受け入れる大型ステーションの設置は考えられないか。

A 民間事業者とどのような可能性があるのか考えてみたいが、ごみ出し時間については、統一ルールでお願いするしかないと考えている。

【その他の質問項目】
◇産業活性化について

証明の導入、空調機器の適正運転、

家電製品の省エネルギー製品への買換え、レジ袋の削減やリサイクル、廃棄物の発生抑制など、住宅建築物では省エネ性能の高い住宅・ビル等の新築や断熱改修など、運輸部門では公共交通機関の利用促進、環境性能に優れた自動車の購入、エコドライブの推進などが求められている。